



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月29日

上場会社名 株式会社宇野澤組鐵工所 上場取引所 東  
 コード番号 6396 URL <https://www.unozawa.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼 財務部長 (氏名) 田村 博 (TEL) 03-3759-4191  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

## (1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	4,585	△7.9	68	△57.6	97	△43.4	47	△64.4
2019年3月期	4,979	△4.8	162	△61.5	172	△59.1	133	△50.9

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	43.12	—	2.5	1.3	1.5
2019年3月期	121.25	—	6.9	2.3	3.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	7,215	1,921	26.6	1,739.70
2019年3月期	7,599	1,962	25.8	1,776.39

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,921百万円 2019年3月期 1,962百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	336	△106	△47	2,100
2019年3月期	109	△151	△60	1,917

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	44	33.0	2.28
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	22	46.4	1.14
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点では業績予想の算出が困難であることから、未定としております。

## 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であることから、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年3月期	1,120,000 株	2019年3月期	1,120,000 株
2020年3月期	15,409 株	2019年3月期	15,286 株
2020年3月期	1,104,669 株	2019年3月期	1,104,714 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては発表日現在の将来に関する見通し・計画に基づく予測が含まれており、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は添付資料4ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 貸借対照表 .....	5
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(持分法損益等) .....	14
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(当期)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界経済は米中貿易摩擦の長期化、地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況が続いています。さらに、2020年3月に顕在化した新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、世界および日本経済は急速に悪化しました。

このような環境の中、不動産事業は増収増益となったものの、製造事業が減収減益となり会社全体としても減収減益となりました。売上高は4,585百万円(前年同期比7.9%減)となりました。損益面におきましては、営業利益68百万円(前年同期比57.6%減)、経常利益97百万円(前年同期比43.4%減)、当期純利益47百万円(前年同期比64.4%減)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### ① 製造事業

中国マーケットにおけるFPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置向け真空ポンプ売上の減少を、その他製品売上の増加でカバーできず、売上高は前年同期比419百万円減少の3,923百万円(前年同期比9.7%減)となり、損益面におきましては、セグメント損失444百万円(前年同期はセグメント損失313百万円)となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは1,983百万円(前年同期比24.9%減)、送風機・圧縮機は804百万円(前年同期比35.7%増)、部品は769百万円(前年同期比11.8%増)、修理は365百万円(前年同期比13.0%減)の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、売上高は445百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

#### ② 不動産事業

オフィス市況が引き続き堅調に推移したことから、売上高は661百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は513百万円(前年同期比7.8%増)と増収増益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は384百万円減少し7,215百万円、負債は343百万円減少し5,294百万円、純資産は40百万円減少し1,921百万円となりました。

総資産の減少は、現金及び預金が183百万円増加したものの、受取手形が200百万円、電子記録債権が74百万円、売掛金が66百万円、未収入金が71百万円、投資有価証券が87百万円減少したこと等が主な要因です。

負債の減少は、支払手形が187百万円、電子記録債務が162百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産の減少は、その他有価証券評価差額金が43百万円減少したこと等が主な要因です。

この結果、自己資本比率は26.6%(前事業年度末は25.8%)となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ183百万円増加し、2,100百万円となりました。

当事業年度における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少404百万円等の減少要因があったものの、税引前当期純利益79百万円、減価償却費218百万円、売上債権の減少342百万円等の増加要因により、全体としては336百万円の資金の増加（前年同期は109百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出137百万円等により、106百万円の資金の減少（前年同期は151百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入1,120百万円、長期借入金の返済による支出1,090百万円等により、47百万円の資金の減少（前年同期は60百万円の資金の減少）となりました。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	22.6	23.2	25.3	25.8	26.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	29.6	30.2	41.7	30.1	35.2
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	74.2	△1,488.2	3.4	25.0	8.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	0.9	△0.1	27.8	4.1	13.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注4) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期における自己資本比率、時価ベースの自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束が見通せない中、米中貿易摩擦、地政学リスク等も懸念され、世界経済の不確実性による設備投資先送り等、当社を取り巻く環境は厳しい状況で推移するとみられます。2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で合理的に見積もることが困難であるため未定としております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は日本基準による非連結決算を実施しております。今後のIFRS（国際財務報告基準）導入に関する動向を注視しつつ、適切に対応する体制の整備に努めてまいります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,917,286	2,100,730
受取手形	765,332	564,792
電子記録債権	351,492	276,776
売掛金	927,513	860,743
仕掛品	332,186	341,495
原材料及び貯蔵品	572,179	534,139
前渡金	1,124	14,547
前払費用	11,405	12,815
未収入金	73,439	2,281
その他	592	1,050
貸倒引当金	△2,257	△2,213
流動資産合計	4,950,295	4,707,160
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,823,079	3,870,348
減価償却累計額	△2,509,229	△2,588,764
建物(純額)	1,313,849	1,281,584
構築物	18,415	19,669
減価償却累計額	△7,815	△9,234
構築物(純額)	10,599	10,434
機械及び装置	954,441	966,125
減価償却累計額	△831,904	△866,564
機械及び装置(純額)	122,537	99,560
車両運搬具	16,290	16,290
減価償却累計額	△15,331	△16,047
車両運搬具(純額)	958	242
工具、器具及び備品	885,717	939,662
減価償却累計額	△822,329	△878,585
工具、器具及び備品(純額)	63,387	61,076
土地	631,643	631,643
有形固定資産合計	2,142,975	2,084,541
無形固定資産		
ソフトウェア	88,860	92,633
電話加入権	1,070	1,070
無形固定資産合計	89,931	93,704

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	341,922	254,292
出資金	1,167	1,167
従業員に対する長期貸付金	24,012	22,752
長期前払費用	516	3,135
差入保証金	5,923	5,916
生命保険積立金	43,026	43,026
投資その他の資産合計	416,568	330,291
固定資産合計	2,649,475	2,508,536
資産合計	7,599,771	7,215,697

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	476,197	288,958
電子記録債務	625,544	462,870
買掛金	196,273	154,506
短期借入金	32,000	-
1年内返済予定の長期借入金	1,012,127	947,793
未払金	98,156	115,187
未払費用	57,355	54,500
未払法人税等	-	38,303
前受金	70,887	81,391
預り金	8,604	8,756
前受収益	2,922	5,845
賞与引当金	70,186	61,677
設備関係支払手形	37,319	18,346
設備関係電子記録債務	20,000	25,122
その他	172	-
流動負債合計	2,707,747	2,263,258
固定負債		
長期借入金	1,705,757	1,799,315
繰延税金負債	33,069	2,522
退職給付引当金	539,661	544,846
役員退職慰労引当金	146,140	140,680
資産除去債務	-	16,301
長期預り保証金	504,999	524,190
長期前受収益	-	2,922
固定負債合計	2,929,626	3,030,777
負債合計	5,637,373	5,294,036
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金		
資本準備金	303,930	303,930
その他資本剰余金	0	0
資本剰余金合計	303,931	303,931
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	731,983	735,429
利益剰余金合計	731,983	735,429
自己株式	△29,418	△29,779
株主資本合計	1,791,496	1,794,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	170,900	127,079
評価・換算差額等合計	170,900	127,079
純資産合計	1,962,397	1,921,661
負債純資産合計	7,599,771	7,215,697

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	4,979,912	4,585,620
売上原価		
当期製品製造原価	3,976,578	3,687,043
不動産事業売上原価	160,178	148,540
売上原価合計	4,136,756	3,835,583
売上総利益	843,156	750,036
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	101,255	88,914
旅費及び交通費	19,813	17,541
役員報酬	85,800	85,305
給料及び手当	196,499	177,648
賞与引当金繰入額	13,003	11,320
福利厚生費	56,576	45,944
退職給付費用	15,366	15,547
役員退職慰労引当金繰入額	9,000	9,000
租税公課	22,381	23,974
通信費	7,409	7,544
支払手数料	66,454	74,167
減価償却費	29,483	35,524
研究開発費	550	14,376
その他	57,320	74,439
販売費及び一般管理費合計	680,914	681,248
営業利益	162,241	68,788
営業外収益		
受取利息	386	366
受取配当金	8,684	9,008
投資有価証券売却益	-	24,116
受取保険金	10,333	2,016
助成金収入	3,531	54
受取賃貸料	6,000	6,000
受取補償金	5,845	9,171
受取ロイヤリティー	45	363
その他	3,856	5,757
営業外収益合計	38,682	56,854
営業外費用		
支払利息	26,811	24,001
為替差損	623	3,295
その他	1,239	843
営業外費用合計	28,674	28,140
経常利益	172,249	97,502

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	49	-
特別利益合計	49	-
特別損失		
固定資産除却損	1,011	438
投資有価証券売却損	-	2,188
災害による損失	-	15,543
特別損失合計	1,011	18,170
税引前当期純利益	171,288	79,332
法人税、住民税及び事業税	28,248	42,922
法人税等調整額	9,087	△11,224
法人税等合計	37,336	31,697
当期純利益	133,951	47,634

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	631,173	631,173	△29,418	1,690,686
当期変動額								
剰余金の配当					△33,141	△33,141		△33,141
当期純利益					133,951	133,951		133,951
自己株式の取得								
自己株式の処分								
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	100,810	100,810	—	100,810
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	731,983	731,983	△29,418	1,791,496

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	227,800	227,800	1,918,487
当期変動額			
剰余金の配当			△33,141
当期純利益			133,951
自己株式の取得			—
自己株式の処分			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△56,899	△56,899	△56,899
当期変動額合計	△56,899	△56,899	43,910
当期末残高	170,900	170,900	1,962,397

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	785,000	303,930	0	303,931	731,983	731,983	△29,418	1,791,496
当期変動額								
剰余金の配当					△44,188	△44,188		△44,188
当期純利益					47,634	47,634		47,634
自己株式の取得							△360	△360
自己株式の処分								
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	3,445	3,445	△360	3,085
当期末残高	785,000	303,930	0	303,931	735,429	735,429	△29,779	1,794,581

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	170,900	170,900	1,962,397
当期変動額			
剰余金の配当			△44,188
当期純利益			47,634
自己株式の取得			△360
自己株式の処分			—
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△43,821	△43,821	△43,821
当期変動額合計	△43,821	△43,821	△40,735
当期末残高	127,079	127,079	1,921,661

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	171,288	79,332
減価償却費	218,673	218,034
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△753	△43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,587	△8,508
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,077	5,185
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,120	△5,460
受取利息及び受取配当金	△9,070	△9,375
支払利息	26,811	24,001
固定資産除却損	1,011	438
固定資産売却損益 (△は益)	△49	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△21,928
災害による損失	-	15,543
売上債権の増減額 (△は増加)	27,385	342,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△189,403	28,730
その他の資産の増減額 (△は増加)	△20,778	15,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	129,606	△404,590
その他の負債の増減額 (△は減少)	△56,784	51,406
小計	313,544	330,147
利息及び配当金の受取額	9,079	9,383
利息の支払額	△26,760	△25,436
法人税等の支払額	△185,895	△17,221
法人税等の還付額	-	42,331
災害損失の支払額	-	△2,633
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,968	336,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△185,553	△137,343
有形固定資産の除却による支出	△142	-
無形固定資産の取得による支出	△19,493	△35,592
投資有価証券の売却による収入	-	46,414
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	1,260	1,260
預り保証金の返還による支出	△9,733	△3,518
預り保証金の受入による収入	61,823	22,709
その他	91	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151,747	△106,062
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△32,000
長期借入れによる収入	1,004,000	1,120,000
長期借入金の返済による支出	△1,031,087	△1,090,776
自己株式の取得による支出	-	△360
配当金の支払額	△32,936	△43,927
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,023	△47,064
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△101,801	183,444
現金及び現金同等物の期首残高	2,019,087	1,917,286
現金及び現金同等物の期末残高	1,917,286	2,100,730

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は真空ポンプ、ブロワ等各種ポンプの製造販売事業を展開している「製造事業」とオフィスビルを中心に不動産賃貸事業を展開している「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,343,529	636,383	4,979,912	—	4,979,912
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,343,529	636,383	4,979,912	—	4,979,912
セグメント利益又は損失(△)	△313,963	476,204	162,241	—	162,241
セグメント資産	3,762,732	1,427,113	5,189,846	2,409,924	7,599,771
その他の項目					
減価償却費	170,374	47,227	217,602	1,070	218,673
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	195,086	16,385	211,471	—	211,471

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	財務諸表 計上額
	製造事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,923,965	661,655	4,585,620	—	4,585,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,923,965	661,655	4,585,620	—	4,585,620
セグメント利益又は損失(△)	△444,325	513,114	68,788	—	68,788
セグメント資産	3,371,236	1,409,283	4,780,520	2,435,177	7,215,697
その他の項目					
減価償却費	169,955	47,033	216,988	1,045	218,034
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	117,305	30,205	147,510	—	147,510

(注) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない現預金であります。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,776円39銭	1,739円70銭
1株当たり当期純利益	121円25銭	43円12銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	133,951	47,634
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	133,951	47,634
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,104	1,104

(重要な後発事象)

該当事項はありません。